

令和4年度 環境で地域を元気にする  
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業  
**キックオフミーティング 配布資料**

活動団体名：富士市SDGs 共想・共創プラットフォーム

活動地域：静岡県富士市

活動におけるテーマ

『官民パートナーシップによる

イノベーションの創出・地域力の結集・見える化』

本事業への関わり：2年目

# 活動団体と地域の紹介

## 静岡県富士市

富士山からの豊かな地下水等を利用して、古くから紙のまちとして発展し、田子の浦港の築造、東名高速道路の開通などを契機に、輸送機械、化学・薬品等の企業が進出し、県内有数の工業都市（ものづくりのまち）として発展してきました。

植物由来で環境にやさしく、紙・パルプ産業と関連の深い  
新素材「セルロースナノファイバー(CNF)」に着目

**新産業の創出・産業全体の活性化**

「富士市CNFプラットフォーム」設立（2019年11月）

「CNFでつながる」場・体制の構築

- CNFの用途開発を加速
- CNF関連産業の創出を図るための連携・ネットワーク構築

**植物由来素材×新素材＝環境と経済の両立  
新たな産業基盤の構築とライフスタイルの転換**

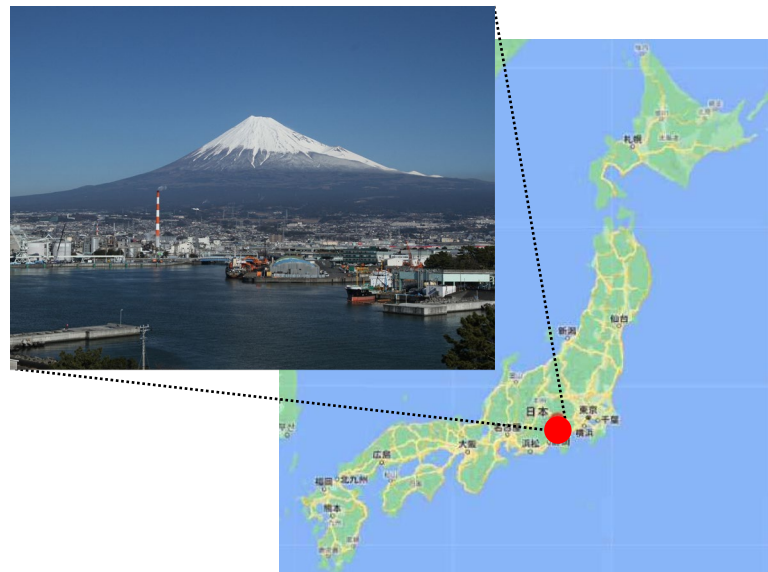
経済・産業分野に留まらず

- ✓ 多種多様な取組への展開
- ✓ 様々なステークホルダーの巻き込み

「富士市SDGs 共想・共創プラットフォーム」設立（2022年3月）

「富士市から世界を変える」取組の実現

- オール富士市でSDGsに取り組むパートナーシップ形成
- 富士市SDGs未来都市 行動宣言・推進企業等登録
- SDGsの達成に向けた取り組みからプロジェクトを創出



総人口 約25万人（県内第3位）

世帯 約10万世帯

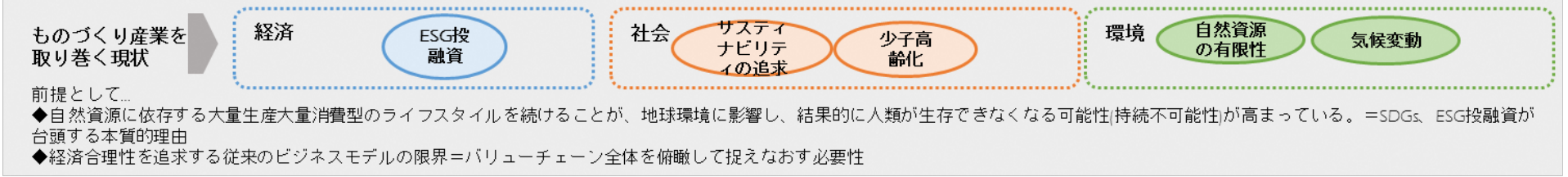
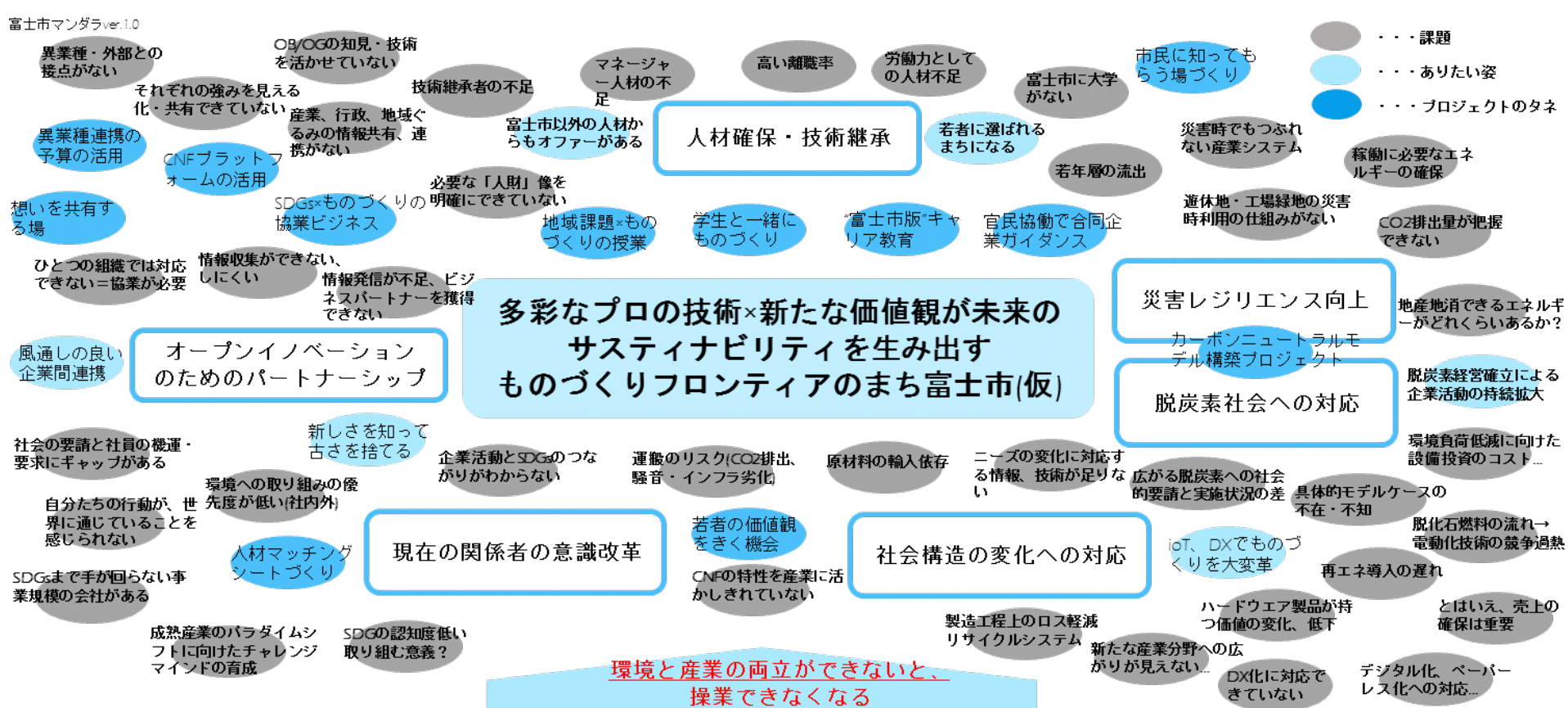
- 東京まで約146km、京都まで約320km
- 日本で唯一、富士山と海があるまち
- 海拔0mから山頂を目指す「富士山登山ルート3776」
- 駿河湾の水深 約2,500m
- トイレットペーパー生産量 317,946t（全国比 34.7%）  
⇒パルプ・紙産業を基幹産業としたものづくりのまち

SDGsへの、はじまり  
富士市

<https://sdgs.fujicity.jp/>



# 現時点の地域版マンダラ



# 活動計画（概要）

地域プラットフォームを形成して  
解決したい地域の課題

ものづくり産業が、社会構造の  
変化（脱炭素社会、SDGs、災  
害レジリエンス）に対応できる  
基盤が整っていない

- ▶ 人材
- ▶ オープンなネットワーク

地域のありたい未来

- ▶ ものづくり企業が蓄積・保有する多  
彩な技術と新素材やユース世代の新  
たな価値観が融合する
  - ▶ 経済の好循環の創出とともに、地球  
環境問題の解決や気候変動、地域課  
題の解決を図る
- 上記を、富士市のSDGs推進の施策と  
連携する形で実施する

環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ（体制、機能、規模感、等）

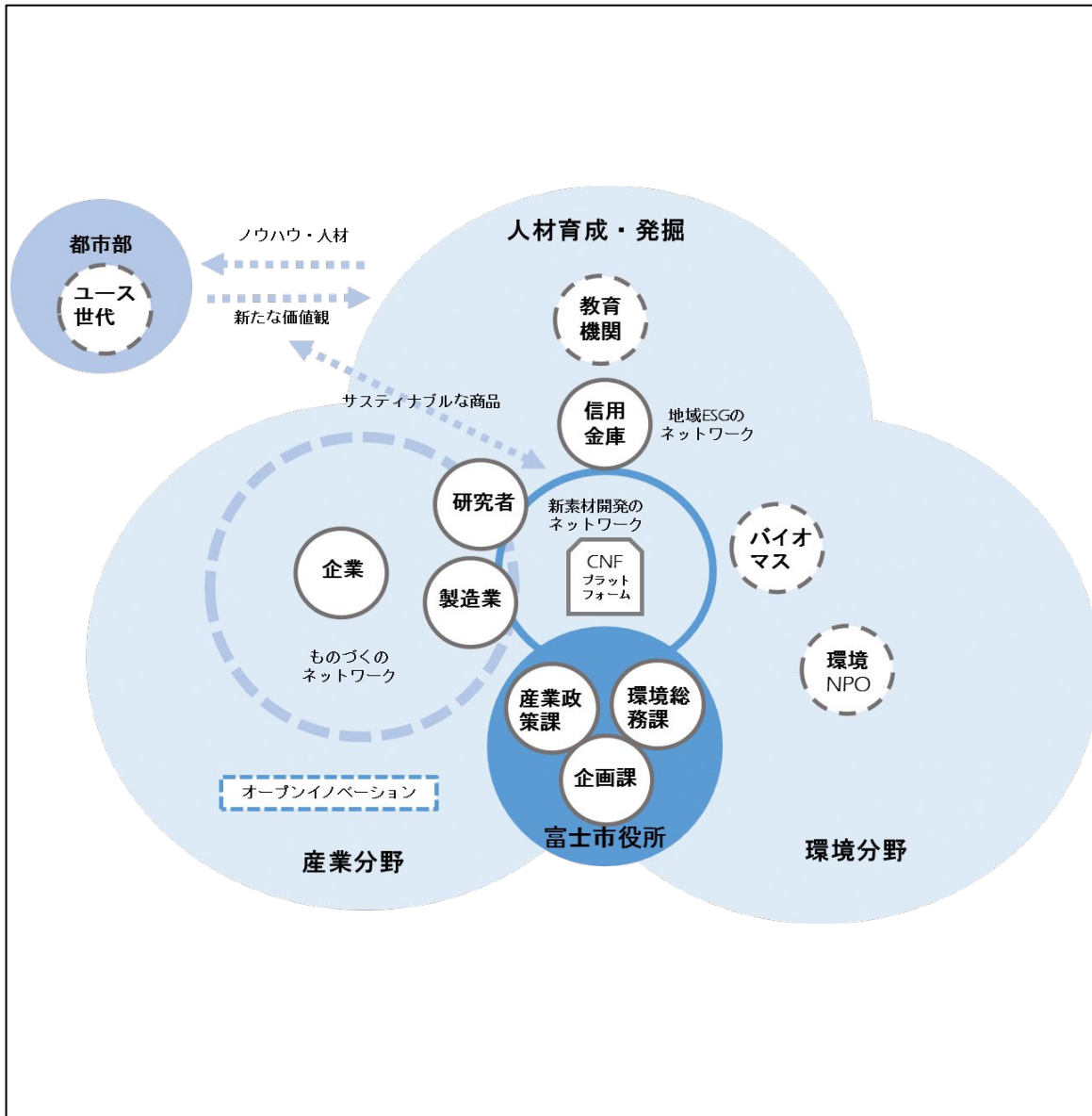
- ▶ 企業（SDGs推進登録企業等）を中心とした異分野・異業種等の連携
- ▶ 企業活動のみならず社会・環境分野のステークホルダーの巻き込みと連携
- ▶ ステークホルダー同士による能動的なプロジェクトの創出

想定している資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

- ▶ 紙・パルプ産業を基幹とした「ものづくり産業」の立地・集積
- ▶ ものづくりを支える技術やノウハウと人材
- ▶ 富士山麓の自然豊かな環境や森林資源
- ▶ 高速道路や鉄道など、高い交通利便性（東京から新幹線で1時間程度）
- ▶ SDGsプラットフォーム形成によるパートナーシップ形成の機運・行政の横断的な連携

# 目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

2023年3月 1年後の地域プラットフォームのイメージ



←新たに加わってほしいSH <sup>ステークホルダー</sup>

- エネルギーやバイオマス関連企業
- 環境NPO
- 教育機関
- 域外(都市部)の若年層

←想定している課題・阻害要因

- SDGsとビジネスの関係性に対する理解の差  
SDGsと企業活動の繋がりや意義が理解されにくい
- 分野や業界を超えたネットワークづくりのハードル  
オープンイノベーションのための同業者(異業種)やサプライチェーン間の利害関係
- 人材・世代間における価値観のギャップ  
「人財」: 求める側と選ぶ側
- 脱炭素への社会的要請と実施状況の差  
環境負荷低減・コスト・売上げ...

# 地域の「ありたい未来」を実現するために何をするか

## 地域のありたい未来

ものづくり企業が蓄積・保有する多彩な技術と新素材やユース世代の新たな価値観が融合  
経済の好循環の創出とともに、地球環境問題の解決や気候変動、地域課題の解決を図る  
「未来のサステナビリティを生み出すものづくりフロンティアのまち」

地域のありたい未来を実現するために、中長期的に見て必要な取組や仕組みは何か

- 異分野・異業種間など、風通しの良い企業間連携の場の創出
- 市民、若者、域外人材に「富士市」を知ってもらう場づくり
- 新しさを知って、古さを捨てる(新分野へのチャレンジ・事業構造転換・価値観の認知を後押しする支援やマッチング)
- ローカルSDGsの達成に寄与する取組であることの「見える化」と「共有」

今年度取り組みたい事 (本事業でチャレンジしたい事)

- 産業セクション以外のステークホルダーも交えたマンダラ図の深掘りと効果的な取組の検討
- 具体的なパートナーシップの形成(モデルづくり)
- パートナーシップ形成によるプロジェクトの創出

# 年間スケジュール

